

12月の保育 ○ねらいと担任の思い

<4歳児 りす組>

展覧会に向け、様々な素材を使って製作することを楽しんだり、自分なりのイメージを形にする面白さを味わったりすることを繰り返してきました。共同製作の遊園地ごっこでは、年長児と一緒に乗り物や場を作り進めていく中で、できることをやってみたり、分からないことや困ったことを年長児に尋ねて教わったりしながら自分なりに活動に参加しようとする姿が見られていました。活動を通して思いやイメージが実現していくうれしさ、味わった達成感や充実感などがこれからの自信や力となっていくよう、一人ひとりの気持ちを支えていきたいと思えます。

遊園地ごっこが始まったことをきっかけとして生活のグループも変化し、これまで学年ごとに分かれて進めていた当番活動も年長児と一緒に取り組むようになりました。今までに年長児が担ってきたウサギの世話、出欠調べ、栽培物の水遣りの活動が新しく増えましたが、年長児のリードを受けながら一生懸命に取り組んでいます。生活面においては、することや流れが分かって自分から動いたり、年少児なりに見通しをもって過ごしたりしていけるよう、年長児の姿を手本として示したり、視覚的な表示等の工夫をしたりしながら細やかに援助していきます。

寒い日が増え、風や水の冷たさ、色とりどりの落ち葉などから季節の変化を感じるようにもなりました。今年もあと1ヶ月で終わりを迎えます。餅つき会、お楽しみ会など、この時期ならではの行事を通して経験できることを大切にしながら、楽しんで参加できるようにしていくとともに、使った物や場の大掃除や整理をし、新年を気持ちよく迎えらるるようしていきたいと思えます。

- 友達と触れ合ったり、相手の動きを感じたりしながら、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 一緒に遊びたい友達に自分の思いやイメージを出したり、相手にも思いがあることが分かり受け入れようとしたりしながら遊ぶ。
- 冬の生活の仕方が分かり、できることを自分から行う。
(上着の扱いや始末、丁寧な手洗いうがい、鼻水の処理、咳エチケットなど)
- 季節の変化や歳末の雰囲気を知り、遊びに取り入れたり年末の行事を楽しんだりする。
- 栽培物の生長や冬の自然に関心を持ち、期待をもって世話をしたり、生長のために必要なことを教師や友達と一緒にやってみたりする。(追肥、水栽培の水換えなど)

<5歳児 はと組>

一層寒さを感じる季節になりました。落ち葉に触れて遊びに使ったり、ダイコンなどの野菜類や球根類の生長を楽しみにしながら世話を続けたりして、冬ならではの自然環境と関わることを楽しんでいきます。

友達を集ってリレーや鬼遊び、ドッジボールなどのルールのある運動遊びを繰り返し楽しんだり、個々にめあてをもちながら縄跳びに挑戦することを繰り返したりしています。引き続き教師も一緒に楽しむ中で、誘い掛けたり励ましたりして意欲的に続けられるようにしていきます。

展覧会へ向けて、グループや全体での場で思いや考えを言葉で伝え合う経験や、仲間とイメージを共有して進めていく経験をしてきました。仲間と一緒に取り組むことの楽しさやうまくいかない葛藤体験などを経て、実現に向かっていく過程での期待感、成功体験からの達成感や充実感を味わうことや、互いのよさを認め合うことで友達同士のつながりを大いに感じていく機会となるように援助していきます。

また、年末の楽しい行事や自分たちが使った場や遊具を掃除する経験を通して、新しい年を気持ちよく迎えらるるようになっています。

- 友達と一緒に遊ぶ中で、自分なりのめあてに向かって繰り返し挑戦しようとする。
- グループや全体の仲間と共通の目的やイメージに向けて活動を進める中で、一人一人が自分の力を発揮したり互いに認め合ったりしながらやり遂げた達成感を味わったり、仲間とのつながりを感じたりする。
- 生活に見通しをもち、自分たちで考えながら進めていこうとする。
- 季節の行事や年末年始などの社会事象に興味や関心を持ち、園のみんなで楽しんだり、必要なことに取り組んだりする。
- 身近な冬の自然の変化を感じたり気付いたりしながら、自然物を工夫して遊びに取り入れたり、栽培物の生長や変化にさらに関心をもったりする。